

神奈川県自然公園だより

(財)神奈川県公園協会 自然公園課 (〒231-0015 横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-211-5483 FAX045-338-1866 <http://www.kanagawa-park.or.jp/>)

秦野ビジターセンター 【秦野市堀山下1513 Tel 0463-87-9300】

秋の気配が近づく9月23日(日)に自然教室「元気いっぱい!野山でぼうけん」が開催されました。朝はまだ曇り空だったのですが、自然教室の始まりに近づくにつれて雨が降り出してきました。でも、集まった子どもたちはどんな冒険が出来るのかワクワク顔です。それならばと、雨も気にせずカッパを着て外へ飛び出しました。



今回の冒険の場所は草むらです。そこは一步踏み込むとたくさんのバッタが飛び出します。もちろん最初はバッタ探し。草や土と同じ色をして隠れているバッタに「いないよ〜」という声も上がっていましたが、隠れているバッタが発見できるようになると夢中でバッタ探しをしていました。「初めてバッタに触れたよ」とうれいお知らせもありました。そして、参加者の元気に圧倒されたのか、途中からは雨も上がり、背丈ほどもある草むらの中を冒険したり、シュリケンを作ってみたりと、元気いっぱい草むらで遊ぶことが出来ました。

身近な場所にもドキドキ・ワクワクの冒険や遊びがいっぱいあります。ぜひ、身近な自然にも目を向けて、いろいろな方法で自然を楽しんでください。(篠島)

宮ヶ瀬ビジターセンター 【清川村宮ヶ瀬940-15 Tel 046-288-1373】

「今年の紅葉はいつですか?」空気がひんやりし、ノギクの花々が咲く頃になると、そんな問い合わせが増えてきます。緑濃く勢いのあった葉は、落葉する準備をはじめています。ただ、夏の猛暑の影響で、全国的に紅葉は例年より遅くなる見込みです。宮ヶ瀬では例年、11月下旬から12月上旬にかけてが見頃です。美しい紅葉が見られると良いですね。

さて、葉が落ちてしまう前に、植物の調査をしてみました。調査場所は、先号でもお伝えした人工林伐採後に作られた植生保護柵の中と外です。2m×2mの四角形を作り、その中の植物の種類を調べて比較しました。写真Aの調査区では、伐採前に出現した植物は約10種類でしたが、伐採後の10月に調べたところ、その数は3倍近くに増えていました!



A 植生保護柵の中の調査区

一方、写真Bの調査区では、植物もまばらで、勢いも感じられません。種数は約20種類ほどでした。日当たりやシカの採食の影響があるかないかで、植物の種類や勢いに大きな違いがあることが分かりました。



B 植生保護柵の外の調査区

ビジターセンターでは、今後も植物をはじめとした宮ヶ瀬地域の自然を見つめ、皆様へ情報を発信していけたらと思っています。(長澤)

丹沢湖ビジターセンター 【山北町玄倉515 Tel 0465-78-3888】

自然教室「自然調査にチャレンジ!」第3・4弾を開催!

自然調査のチャレンジシリーズ第3弾「樹木調査編」を9月16日(日)に開催しました。調査では木の高さや直径を測りました。慣れない道具で大変でしたが、「ポールの先端が見えますか〜?」など皆さん声を掛け合い、協力して無事に調査完了!室内では、切り株を使って年輪を数えました。「俺より年上だぞ!」なんて驚きの声も上がっていました。



樹木調査の様子



年輪を数える

続いて第4弾「草花調査編」を10月7日(日)に開催しました。午前中はゆっくりと植物観察をしながら秦野峠林道を歩き、花や実の状態を調査しました。午後は今年4月に改修した生態園に調査枠を設置し、どんな植物が生えてきているのかを調査しました。生えたばかりの草はとても小さく、「これも調べるの?!」と驚きながらも一生懸命調べ、リストを作成しました。これからは調査枠でどんな植物が生えてくるのか楽しみです。(村上)



草花調査の様子

陣馬自然公園センター 【相模原市藤野町佐野川659-3 Tel 0426-87-5270】

9月:さわやかな季節を迎え虫の音も美しく秋の花々が咲き始め、夏の猛暑を忘れさせていた中旬の日曜日、気温は30℃以上で照りつける日差しも強く、山頂より下山してきた親子グループや中高年の方々は少々バテ気味でセンター脇の階段を上ってきました。また、下旬には台風9号の被害を受け通行止めとなっていた和田峠への道路も解除されました。

10月:センター周辺のカラタチ・カキの実の色とりどりに色づきはじまりました。去年にくらべ、沢山の実をつけたカシワのドングリやクルミ・クリも少しずつ落ち始めています。また、登山道脇の畑でクリの実をせっせと食べあさっているサル姿もみかけます。

深まる秋、シュウカイドウ・イヌタデ・ハナタデ・ミスヒキ・ツルボ・アキノタムラソウ・ヤマホトギス・ヤマゼリなど秋の花々も咲き、朝夕の冷気を肌と感じ、センター前方に見える連行峰もうっすら色づきはじめています。



タニソバ

陣馬山頂付近ではツリフネソウ・サクラタデ・タニソバなどの花の花をまだ見ることができます。シモバシラの花は咲き終わりましたが、次に冬の風物詩「シモバシラ」の氷の花を見せ自然の面白さを感じさせてくれることでしょう。また、陣馬山頂の茶店では今年も山火事防止のため下草の刈り取りも終わり、登山道脇の地面からはタマゴタケ・カラカサタケなどの沢山のキノコが生えています。(荒井)



カラカサタケ